

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

グラスノフ

演奏会用ワルツ第1番 二長調 作品47

GLAZUNOV : Concert Waltz No. 1 in D major, op.47

チャイコフスキー

ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

TCHAIKOVSKY : Violin Concerto in D major, op.35

ラフマニノフ

交響的舞曲 作品45

RACHMANINOFF : Symphonic Dances, op.45



飽くなき美を追求する
スロヴァキアの鬼才
指揮＝ユライ・ヴァルチュハ
(首席客演指揮者)
Conductor= JURAJ VALČUHA (Principal Guest Conductor)

知性と感性を兼ね備え、
ベルリンを拠点に活躍する本格派
ヴァイオリン＝金川真弓
Violin= MAYUMI KANAGAWA

TCHAIKOVSKY

RACHMANINOFF
GLAZUNOV

読売日本交響楽団
第290回
土曜マチネシリーズ
Saturday Matinée Series No. 290

2026.
9.19 SAT

読売日本交響楽団
第290回
日曜マチネシリーズ
Sunday Matinée Series No. 290

2026.
9.20 SUN

各14:00開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall
S ¥8,800 | A ¥6,600 | B ¥5,500 | C ¥5,000

〈お申し込み・お問い合わせ〉

読響チケットセンター / 0570-00-4390 (10時～18時・年中無休)

☒ 学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

<https://yomikyo.or.jp/>

2024年から読響の首席客演指揮者を務めるユライ・ヴァルチュハが、ロシア音楽を聴かせるコンサート。スロヴァキアに生まれ、現在ヒューストン響の音楽監督を務めるヴァルチュハは、2022年8月に初めて読響へ客演し、緻密かつスケール感のある音楽作りで聴衆と楽員の支持を獲得。瞬刻間に首席客演指揮者のポストを得た名匠です。これまでマーラーの交響曲を中心に実力を発揮してきましたが、ロシア物も掌中の演目。2024年5月には、リャドフ、ハチャトゥリアン、チャイコフスキーの作品が並ぶ同国プログラムで好演を展開しています。

今回は最初と最後が“踊り”に関する音楽です。グラズノフの「演奏会用ワルツ第1番」は、チャイコフスキーの流れを汲む優美で夢幻的なコンサート・ワルツ。バレエ音楽を得意とした作曲者の美質が十分に発揮されます。後半のラフマニノフの「交響的舞曲」は、ロマンティックな作風で近代ロシアを代表する人気作曲家となったラフマニノフの最後の作品。多彩な楽器法を駆使した円熟の書法で様々

な舞曲の特性を示した、全3楽章のシンフォニックな音楽です。

間に置かれたのはご存じチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲。同曲では当然、2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位、18年ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位、24年エネスク国際コンクール優勝の実績を誇る金川真弓のソロに注目が集まります。彼女は確かな技術と雄弁な表現で信頼の厚い俊英世代屈指の国際的名手。日本でも引手数多の存在ですが、飛躍のきっかけとなったコンクールゆかりのチャイコフスキーの協奏曲を披露する機会は意外に多くないので、ここは聴き逃せません。

今回はチャイコフスキー→グラズノフ→ラフマニノフと続くロシア音楽の系譜を体感できる点も妙味。そして、丁寧な構築と細やかな表情で温かみや手応えのある音楽を紡ぎ出すヴァルチュハが、ロシア音楽の真の魅力を堪能させてくれるに違いありません。

柴田克彦(音楽ライター)

ユライ・ヴァルチュハ(首席客演指揮者)

JURAJ VALČUHA, PRINCIPAL GUEST CONDUCTOR

24年4月から読響の首席客演指揮者を務めるスロヴァキアの鬼才。プラチスラヴァで作曲と指揮を学んだ後、サンクトペテルブルクとパリで学び、ムーシラに師事。フランス国立管デビューを皮切りに欧米で活躍中。これまで、イタリアのRAI国立響の首席指揮者、ナポリ・サンカルロ劇場の音楽監督、ベルリン・コンツェルトハウス管の首席客演指揮者などを歴任。現在、ヒューストン響の音楽監督の任にある。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ドレスデン国立歌劇場管、ニューヨーク・フィル、ウィーン響、ミュンヘン・フィル、シカゴ響など一流楽団を振り、高い評価を得ている。オペラでもベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン国立歌劇場、ボローニャ歌劇場などで活躍している。



金川 真弓 MAYUMI KANAGAWA, VIOLIN

音楽への飽くなき探求心と、豊潤かつ深い音色で国際的に活躍する気鋭。ドイツ生まれ。ニューヨーク、ロサンゼルスを経て、現在はブレイメン芸術大学で教えながらベルリンを拠点に演奏活動を行う。ハンス・アイスラー音楽大学でブラッハーに師事。2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位、18年ロン＝ティボー国際コンクール第2位入賞及び最優秀協奏曲賞を受賞。ベルリン・コンツェルトハウス管、ロイヤル・フィル、ドイツ・カンマーフィル、フィンランド放送響、マリンスキー劇場管などと共演。読響とは21、23年、24年と共演し、絶賛された。使用楽器は、笹川音楽財団(旧:日本音楽財団)貸与のストラディヴァリウス「ウィルヘルミ」(1725年製)。

読売日本交響楽団 第290回土曜マチネーシリーズ

2026年9月19日(土)
S ¥8,800 | A ¥6,600 | B ¥5,500 | C ¥5,000

読売日本交響楽団 第290回日曜マチネーシリーズ

2026年9月20日(日) 各14:00 開演
東京芸術劇場 コンサートホール
S ¥8,800 | A ¥6,600 | B ¥5,500 | C ¥5,000

■学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。【観客注意】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社明日香0120-165-115(予約受付:平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296